

各 位

平成 22 年 1 月 27 日
会 社 名 株式会社コロワイド
代表者名 代表取締役 蔵人金男
(コード番号 7616 東証第一部)
(連絡先電話番号：045-274-5970)

業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 7 月 28 日に公表いたしました平成 22 年 3 月期連結通期の業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたすとともに、下記の通り特別損失が発生いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

記

〔 I 〕 業績予想の修正について

1. 平成 22 年 3 月期連結通期の業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	111,055	3,709	2,591	1,390	20.73
今回修正予想 (B)	107,147	3,697	2,357	1,327	19.67
増減額 (B-A)	△3,908	△12	△234	△63	-
増減率 (%)	△3.5	△0.3	△9.0	△4.5	-
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	117,293	2,522	1,526	628	9.30

2. 修正の理由

当期の外食産業につきましては、雇用・所得環境の悪化によるデフレ圧力の影響が大きく、価格競争の激しさが一段と増しており、なお一層厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループとしては、居酒屋業態・レストラン業態それぞれで集客力と収益力のある業態の開発・展開に力を注いでおりますが、人材育成システムの確立や季節メニューの開発といった既存業態の営業力強化対策も積極的に実施し、収益の向上を図っております。しかしながら、個人消費の一層の冷え込みなどにより連結売上高は計画を下回る見込みとなりました。

また、コスト面では、業態の統合などによる食材アイテム数の絞り込みを進めるほか、購買機能と商品開発機能の連携により食材の効率的運用と内製化の推進を実施し、更なる原価率低減を図るとともに、各店舗におけるワークスケジュール管理の深化と募集費の削減による人件費低減や値引きを中心とした販売促進策の見直しによる販促費の低減など販管費の効率を高める取り組みを引き続き実施してまいりましたが、売上高減少を主要因として、連結営業利益、連結経常利益及び連結当期純利益につきましても計画に対し若干の未達となる見込みです。

〔Ⅱ〕 特別損失の発生について

当社連結子会社が保有する投資有価証券の中で、時価が連結上の取得価格に対して著しく下落した銘柄につきまして 233 百万円の投資有価証券評価損を計上することといたしました。

以上